

**研究仮説1** 生徒の学びを支える環境づくり（助けあい、鍛えあい、学習サポート）を行い、自尊感情等が高まれば、内発的な学習意欲が高まり、確かな学力を育む基盤となるだろう。

**『邑知システムを支える環境づくり』・『邑知システム』の充実に向けた学習サポート**

< 『邑知システムを支える環境づくり』 >

- ※1 心に響く体験活動や道徳教育の充実（自尊感情・自己肯定感・自己理解）
- ※2 自主性を重んじた生徒会活動（達成感・成就感・自己有用感・他者肯定感）
- ※3 自らの将来を肯定的にとらえるキャリア教育の推進（向上心）
- ※4 自らの心身の健康を保持・増進させようとする活動の推進（健康の保持・増進）
- 5 学びの環境整備（愛校心）
- 6 開かれた学校
- ※7 学校・家庭・地域との協働

< 『邑知システム』の充実に向けた学習サポート >

- ※8 学習オリエンテーション
- ※9 教科相談
- 10 学習カルテの充実
- 11 小中連携した学習規律の徹底『学びの邑知スタイル』
- 12 学習意欲を育む中高連携

**研究仮説2** 生徒一人一人の実態を的確にとらえ、効果的な学習形態や指導方法を工夫しながら、つきたい力を明確にした指導を行えば、基礎的・基本的な学習内容を習得することができるであろう。

**研究仮説3** 生徒一人ひとりに応じた多様な支援と評価を生かした指導を行えば、わかる喜びから更なる学習意欲が高まり、習得した学力がより確かなものとなっていくであろう。

**『邑知システム（R-PDCA）』による基礎的・基本的な学習内容の習得・習熟**

※各教科の基礎・基本の習得・習熟に向けた取組

- ①言語活動の充実
- ②見通しを立てたり、振り返ったりする学習
- ③学習スキル・ドリル学習

**研究仮説4** 内発的な学習意欲と、基礎的・基本的な知識・技能を身につけた生徒に対して、適切な教材や指導方法の工夫を行えば、活用力（思考力・判断力・表現力）が身につくであろう。

**『邑知システム（R-PDCA）』による活用力の育成**

※各教科の活用型の授業の実践  
（中教審答申活動例①～⑥を参考に）

- ①言語活動の充実
- ②見通しを立てたり、振り返ったりする学習
- ③問題解決的な学習

**研究仮説の検証**

- 1 生徒の意識調査（「生きる力」アンケート）の経年比較
- 2 活用力の評価（活用力を評価する問題の作成と誤答分析）について

**その他の学習サポート**

- ※1 邑知BASIC
  - ①基礎的・基本的な学習内容の習得・習熟
  - ②言語技術の習得
- 2 活用の場の広がり
  - ①総合的な学習の時間の問題解決学習
  - ②表現力育成の取り組み（スピーチ等）